# Morlin

森松株式会社社内報

2019年03月 No.405号 創刊 1985 年 (昭和 60 年)

https://www.morimatsu.net

森松株式会社 社内報
No: 405 平成 31 年 2 月 25 日編集者
問 紹 好大 加藤 俊輔 村橋 敦士

間部将大 加藤俊輔 村橋敦士 小坂美香 則武恵秀 大脇 勝治



《お知らせ》東海テレビ「ロンブー敦のスマホ旅」にて弊社甲冑ミュージアムが取材 されました。放送日は3月8日(金)19時~(予定)です。お楽しみに!



#### 点と点を結ぶ

森 直樹 (代表取締役社長)

私達のビジネスにおいては、好奇心が重要です。一見自分の仕事に関連がないと思われることも、 どこかで仕事と繋がることも有るでしょう。または、他の何かと組み合わさることで仕事として 成立するということはなかなか簡単には予測できないことが多いと思います。なので自分の中の



「引き出し」をたくさん持つことでその繋がりが出来る機会が増えていくでしょう。繋げるということでひとつ例を挙げると、私の好きなプレゼンテーションの一つである、2007年に初代iPhoneを発表するスティーブ・ジョブズの言葉が以下の通りです。1つめ、ワイド画面タッチ操作の「iPod」。2つめ、「革命的携帯電話」。3つめ、「画期的ネット通信機器」。3つです。タッチ操作iPod、革命的携帯電話、画期的ネット通信機器。iPod、電話、ネット通信機器。iPod、電話…おわかりですね?独立した3つの機器ではなく、ひとつなのです。このように、

iPhone は3つの機能を一つの装置に組み入れたという発想ですが、既存の技術を一つにまとめたことで画期的なものが産まれたという一例です。個々の技術を取り上げても、直接的には自身の商売に繋がる部分が見えてこないかもしれません。しかし、その技術もある素材と組み合わせる、または有るサービスに利用する、ということで活きてくる可能性があります。自分の好奇心、いろいろなことに興味を持つことはその先のどこかでその興味が活きてくるでしょう。まずは興味を持つことを忘れずにいたいものです。

2025年国際博覧会(万博)の開催国が決まる博覧会国際事務局総会が昨年 11 月 23 日パリで開催され、日本時間 24 日未明に行われた加盟国の投票で日本(大阪)が選ばれました。大規模な万博としては 2005年の愛知以来で、大阪では 1970年以来 55年ぶ



りの開催になります。政府は 25 年万博の経済効果を全国で約 2 兆円と試算し、20 年東京五輪・パラリンピック後の日本の景気浮揚策に位置づけ、大阪府・市は万博に合わせて会場となる大阪湾の人口島・夢洲(ゆめしま)でカジノを含む統合型リゾート(IR)の開業も目指しており、今後、地下鉄延伸や湾岸エリアの再開発などインフラ整備が加速しそうです。今回の 25 年万博のテーマは「命の輝く未来社会のデザイン」人工知能(AI)や仮想現実(VR)などを体験できる「最先端技術の実験場」にするコンセプトを掲げ 150 か国の参加を見込み、185 日間で国内外から約 2800 万人の来場を想定しているそうです。1970 年の大阪万博は、私も 1 度行きました。小学校の低学年であまり記憶は鮮明ではありませんが、太陽の塔や月の石、人の多さにはびっくりしたことを覚えています。テーマは「人類の進歩と調和」でした。日本館ではリニアモーターカーの模型が展示されたり、携帯電話も展示され今では当たり前のスマホもその当時からすると信じられない進化だと感じます。万博で見た未来への進化が今現実として身近に感じられるようになって来ています。大阪万博が成功して大阪が元気になり、日本も元気になればいいなと思います。只、個人的には、カジノだけは、いかがな物かと思いますし、一部の業界だけが潤うようなことのないよう願いたいものです。

#### 小説

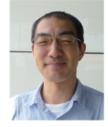
安井 浩二(企画営業部)

書初めで「月に一冊、小説を読む」を目標にしました。理由は、朝礼で輪読している職場の教養より「人間が個人的に経験できることは限られている。そのため、小説で代理経験を積む事で人生を確実に豊かにする」代理経験すること



で「他人の気持ちになって考えることができる」と記されており、なるほどと…。ここ数年、まともに小説を読んでいないな?ということで「下町ロケット」「陸王」「空飛ぶタイヤ」などドラマや映画でおなじみの池井戸潤。著者の作品は勧善懲悪?正義は勝つ。というストーリーが多く結末は爽快なイメージがあります。そこで映画化も決定していた「七つの会議」を選択。読み終えた後、映画を鑑賞し想像力も試してみたかったのも理由です。そのために、あえて映画のキャストを調べず役者のイメージが偏ることを避けました。内容は伏せますが、主人公の野村萬斎(八角民夫役)はイメージと大きく違っておりました。見方を変えれば狂言師ならではの迫力のある演技でしたけど。他のキャスト、場面などイメージ通りのところもあり想像力を照らし合わせる観かたができました。これをきっかけに最近、ちょっとビジネス小説にハマリ気味です。次に「かばん屋の相続」「左遷社員池田リーダーになる」と読みました。今後も小説を楽しむ習慣を身につけて、想像力、代理経験を養って行きたいと思っております。

私の年末年始と言えば、なんといってもスポーツ観戦です。数ある中でも(サッカーアメリカンフットボール・ラグビー・ボクシング・ニューイヤー駅伝・箱根駅伝・格闘技など)特に毎年のように元旦8時30分から「全日本実業団駅伝」を翌日



には「箱根駅伝」を観戦しています。応援に関しては地元のチームびいきなので実業団駅伝はトヨタ自動車で今年は1分遅れての3位でした。途中ブレーキになった選手がいて他の選手がカバーしきれずもうちょっとでした残念。箱根駅伝ですが今年のNHK大河ドラマの主人公金栗四三さんはマラソンの父と呼ばれる程の人物、グリコの看板のモデルで箱根駅伝の創設に尽力した人です。大河ドラマは戦国ものしか見ない私ですが今年は気になって観ています。箱根駅伝は関東地区の大学駅伝大会なので全国大会ではなく地方大会主催。にもかか



わらず全国大会の「出雲駅伝」「全日本大学駅伝」と学生3大駅伝と言われて歴史は一番古く1920年から始まる駅伝大会、今年は青山学院大学5連覇がかかっていました。往路で4・5区がブレーキで5分ほどのタイム差で復路スタート総合2位でした。これと言って青山を応援したいたわけでもないのですが、5連覇はなかなか見られるものではないので残念でした。おそと気分で見る駅伝は最高ですまた来年どんなドラマがあるか楽しみです。

#### 糖尿病から20年

大橋 康成 (配送部)

糖尿病になって 20 年が経ちます。健康診断で分かりました。糖尿病は、自覚症状があまりなく分かった時は、かなり症状が進んでおり血糖値が、324 mg/dl、ヘモグロビン A1c は、13.5% という数値でした。健康な人は、空腹時血糖値は、 $65\sim110 \text{mg/dl}$  でヘモグロビン A1c は、5.8



~6.5%ぐらいです。ヘモグロビン A1c は、血糖値の過去の状態をより詳しく調べる検査です。糖尿病は、インスリンが十分に働かないために、血液中を流れるブドウ糖という糖(血糖)が増えてしまう病気です。インスリンは膵臓から出るホルモンであり、血糖を一定の範囲におさめる働きを担っています。血糖の濃度(血糖値)が何年間も高いままで放置されると、血管が傷つき、将来的に心臓病や、失明、腎不全、足の切断といった、より重い病気(糖尿病の慢性合併症)につながります。症状がなく糖尿病になっていることに気がついていない人も多くいます。糖尿病ではかなり血糖値が高くないと症状が出ません。高血糖の症状は、喉が渇く、水をよく飲む/尿の回数が増える/体重が減る/疲れやすくなるなどです。症状が全くないまま糖尿病が分かる人もいれば、急に高血糖の症状がでて糖尿病が分かる人もいます。また、眼や腎臓の合併症の症状がでて、初めて糖尿病と診断される方もいます。糖尿病は、その成りたちによっていくつかの種類に分類されますが大きく分けると、「1型糖尿病」、「2型糖尿病」、「その他の特定の機序、疾患によるもの」、そして「妊娠糖尿病」があります。1型糖尿病では、膵臓からインスリンがほとんど出なくなるため、血糖値が高くなります。生きていくために、注射でインスリンを補う治療が必須となります。2型糖尿病は、インスリンが出にくくなったり、インスリンが効きにくくなったりすることによって血糖値が高くなります。2型糖尿病となる原因は、遺伝的な影響に加えて、食べ過ぎ、運動不足、肥満などの環境的な影響があるといわれています。自分は、2型糖尿病で遺伝です。合併症にならないように気を付けたいと思います。



## 東海交通遺児を励ます会

平成30年3月に設立50周年を迎えた公益財団法人東海遺児を励ます会は国や地方行政等の公的資金援助を受けず、民間からの寄付のみで愛知・岐阜・三重、東海3県の交通遺児と保護者を支援する団体です。

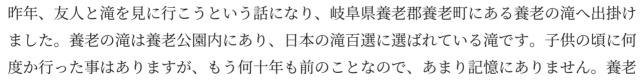


#### 第 52 回 交通遺児を励ます大会

昨年 12 月にサイプレスガーデンホテルにて行われたクリスマス会では、森松製プラスチック甲冑を皆さまに着用し楽しんでいただきました。多い時期で二千人以上みえた交通遺児も、現在は二百十六名と年々減少してはおりますが、まだまだ多くの支援が求められています。交通事故の根絶を願って今後も支援活動を継続していきます。

### 養老の滝

円道 陽子(森松産業)





公園内には、他にも 1995 年開園の養老天命反転地があります。そこは漫画「聲の形」にも登場した場所です。娘が小学生の頃に一度訪れた事があり、様々な作品が展示されていて、ほぼ水平な場所のない、不思議な感覚になるところです。私たちが養老の滝に行った時は、紅葉シーズンでもみじまつりの期間中でした。しかし、暖かい日が続いていたからか、葉の色づきは少しだけでした。紅葉も楽しみにしていたので、少し残念でした。駐車場から少し山に入れば滝に着くかと思っていましたが、舗装された道をしばらく歩くと、コンクリートの階段があり、ずっと登り道が上へと続いていました。途中、木の棒の杖が置いてありまし



たが、「使わなくても大丈夫だろう」と思い登っていきました。しかし、息が上がり、 ふくらはぎは痛くなり、話すのも苦しくなってきました。日頃の運動不足が出てしまい ました。目線の先には、木々の間に数人の人がいるのが見えます。「そこに滝があるは ずだ」と思いながら、重たい身体にムチを打ち、さらに登っていきました。登り道の途 中の橋で小休憩。息を整えてさらに登っていき、やっと滝が見えました。汗だくの私は 滝の感想よりも、登り切った達成感でいっぱいでした。帰り道は別の散策道から下りて、 養老神社を参拝し、菊水泉で冷たい湧き水に触れて帰りました。久しぶりにたくさんの 自然に触れ、リフレッシュできました。昔行った時の事はあまり憶えていませんが、何 となく懐かしい気持ちになりました。